

供覧・決裁						
議長	副議長	局長	課長	課長	係長	
[Redacted]			[Redacted]			



令和3年12月15日

丹波篠山市議会議長 様

会派名 青藍会
 代表者名 足立 義則
 又は会派無所属議員の氏名



政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

- 活動の種類： 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動
その他 ()
- 活動期間： 令和3年12月5日 15:00～17:00
- 場所： 丹波篠山市民センター 研修室2
- 活動者： 足立 義則、栗山 泰三、小島 政行、
大上 和則、上田 英樹、原田 豊彦
- 活動の概要： 若手農業者との懇談会 (別紙)
- 考察： 別紙のとおり
- 活動に要した費用：

費目	詳細	金額	備考
広聴費	会場使用料	1,400	丹波篠山市民センター

政務活動調査研究報告書（青藍会）

報告者	青藍会
開催日時	令和3年12月5日 15:00~17:00
開催場所	丹波篠山市民センター 研修室2
調査研究名	若手農業者との懇談会（若手農業者5人）
活動の概要	<p>市内若手農業者と本市の基幹産業である農業の担い手としての現状、課題の把握、また有効な農業施策を模索することを目的に意見交換を行った。</p> <p>【若手農業者の主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月から獣害が目立ってきた。トンコレラの流行もあるのだろうが、イノシシは以前より里を恐れない感じがしている。 ・昨今の原油高、肥料や人件費も高騰している。獣害は、我々にとって致命的なダメージを与えるため、何とか解決してほしい。 ・大規模農家と我々新規参入農業者の言い分は多少違う。 <p>私が目指しているのは、できるだけ小規模な耕作面積で持続可能な農業で、量より高い付加価値を求めている。我々が望むのは①農業の知識と技術の伝授と②地域への入り込み方だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が有機農業の振興目標を発表した「みどりの食料システム戦略」は、具体的な支援メニュー等は謳ってないが、今後の指針となる計画だと思う。日本農業遺産の認定を維持するためにも、丹波篠山市の農業施策に組み込んでほしい。 <p>【議員の回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猟友会も高齢化しており、若手を増やす努力をしている。 ・猟友会に頼るところも大きいですが、住民による獣害柵の点検も重要な対策と感じている。 ・冬の名物ボタン鍋をPRしている本市にとってトンコレラの流行は、致命的なダメージにつながるため、感染しているイノシシの駆除に向けて努力しているところであるが、農業者が求めている野生動物の全滅については、生態系の問題もありできないことは理解してほしい。
考察	<p>高齢化が進み、担い手が不足している本市の農業を支えてくれている若手農業者の思いや課題を聞くことが出来た。</p> <p>今回の懇談会で得た情報を基に、可能な対策等を検討し、本市の農業施策に反映できるよう政策提案につなげていきたい。</p>

若手農業者と青藍会 懇談会

日時：令和3年12月5日 15:00～17:00

場所：市民センター

1、開会

2、自己紹介

3、意見交換

5、閉会



丹波篠山市民センター使用料領収書

青 藍 会 様

金額 1,400-

〔摘要〕

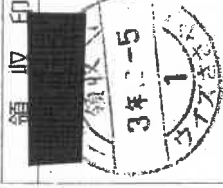
使用日: R3 年 12 月 5 日

時間帯: 午前・午後・夜間

部屋名: 研修室(上)
 多目的ルーム()
 和室みたけ 玉水(茶室)
 催事場() 市民ギャラリー
 多目的ホール

備品名:

プロジェクター (@2000)
 調理台 台 (@200)
 展示パネル 枚 (@100) (10枚まで無料)



領収印

※領収印なきものは無効です。

丹波篠山市民センター使用料徴収等事務委託
一般社団法人 **ウイズ**
〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡1-1番
丹波篠山市民センター内
TEL 079-554-2188
FAX 079-552-4680